



株式会社エディオン
2023年3月期 第3四半期決算説明会

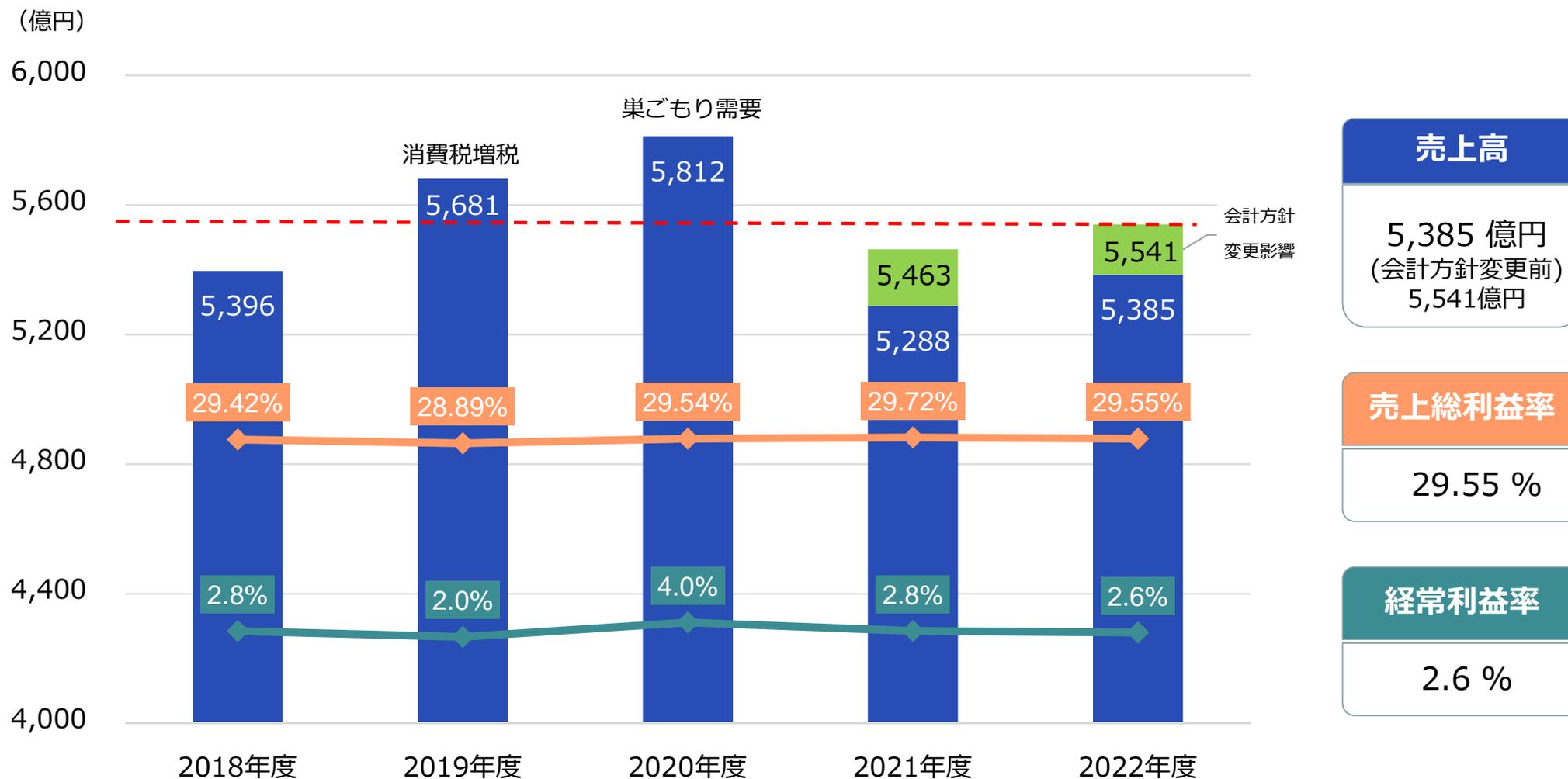
2023年2月3日

- 1. 2023年3月期 第3四半期実績報告**
- 2. 2023年3月期 業績予想**
- 3. トピックス**

1. 2023年3月期 第3四半期実績報告

百万円・%	2022年3月期 第3四半期累計			2023年3月期 第3四半期累計			
	売上比	実績	前年比	売上比	実績	前年比	前年増減
売上高		528,808	91.0		538,554	101.8	9,745
売上総利益	29.72	157,138	91.5	29.55	159,119	101.3	1,981
販売管理費	27.3	144,111	96.9	26.9	144,902	100.5	790
広告宣伝費・販売費	6.8	35,901	84.8	6.6	35,557	99.0	△343
人件費	11.3	59,760	101.4	11.1	59,625	99.8	△135
設備費・その他管理費	7.5	39,772	101.3	7.7	41,628	104.7	1,855
減価償却費	1.6	8,677	106.8	1.5	8,092	93.3	△585
営業利益	2.5	13,026	56.6	2.6	14,216	109.1	1,190
営業外収益	0.5	2,704	213.4	0.2	1,041	38.5	△1,663
営業外費用	0.2	809	98.2	0.2	1,256	155.3	447
経常利益	2.8	14,921	63.6	2.6	14,000	93.8	△920
特別利益	0.1	285	270.7	0.1	530	185.9	245
特別損失	0.1	390	27.1	0.1	347	88.9	△43
税金等調整前当期純利益	2.8	14,816	66.9	2.6	14,183	95.7	△632
法人税等合計	0.9	4,929	66.2	0.9	4,801	97.4	△128
親会社株主に帰属する 当期純利益	1.9	9,886	67.3	1.7	9,382	94.9	△503

業績推移 (第3四半期累計)



- 売上高においては、消費税増税 (2019)、巣ごもり需要 (2020) を除き伸長
- 売上総利益率 当期実績 29.55% 前期 29.72%とほぼ前年並み
- 前期の営業外収益としてコロナによる大規模施設休業協力金等 約15億円あり、当期の経常利益率は前期よりもやや低下した (営業利益率については、 前期 2.46% 当期 2.64% +0.18% 改善)

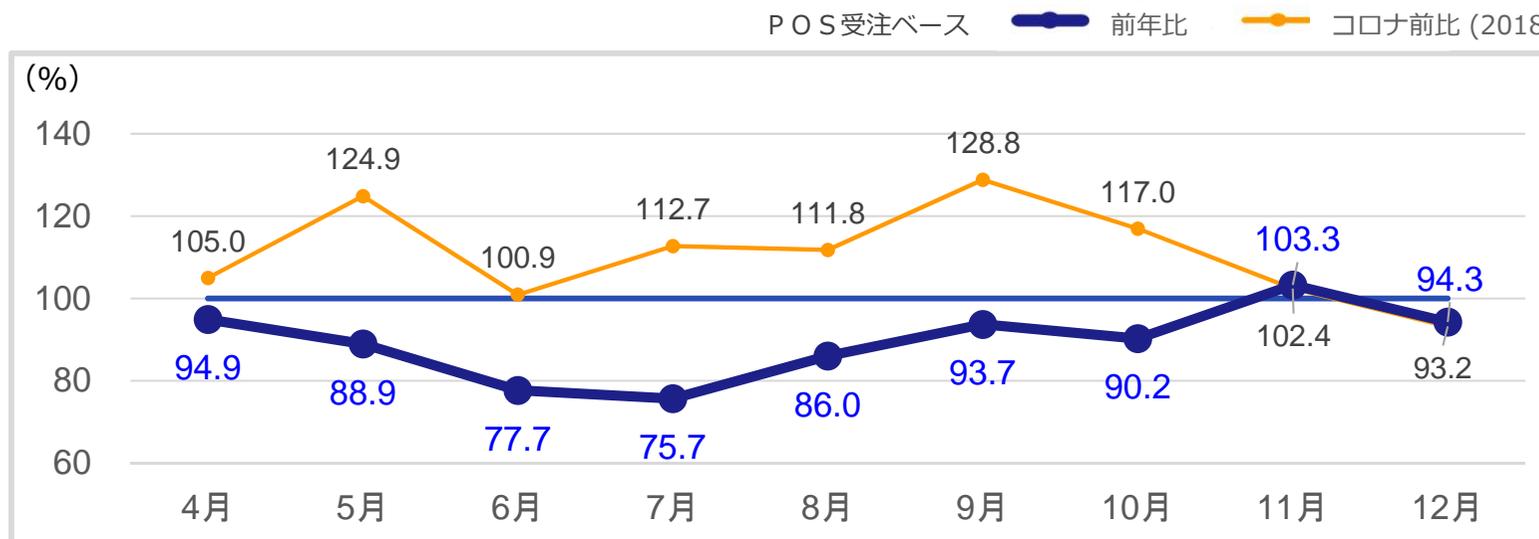
主要商品別の状況

テレビ

第3四半期累計

前年比 **88.9%**

コロナ年比 108.8%

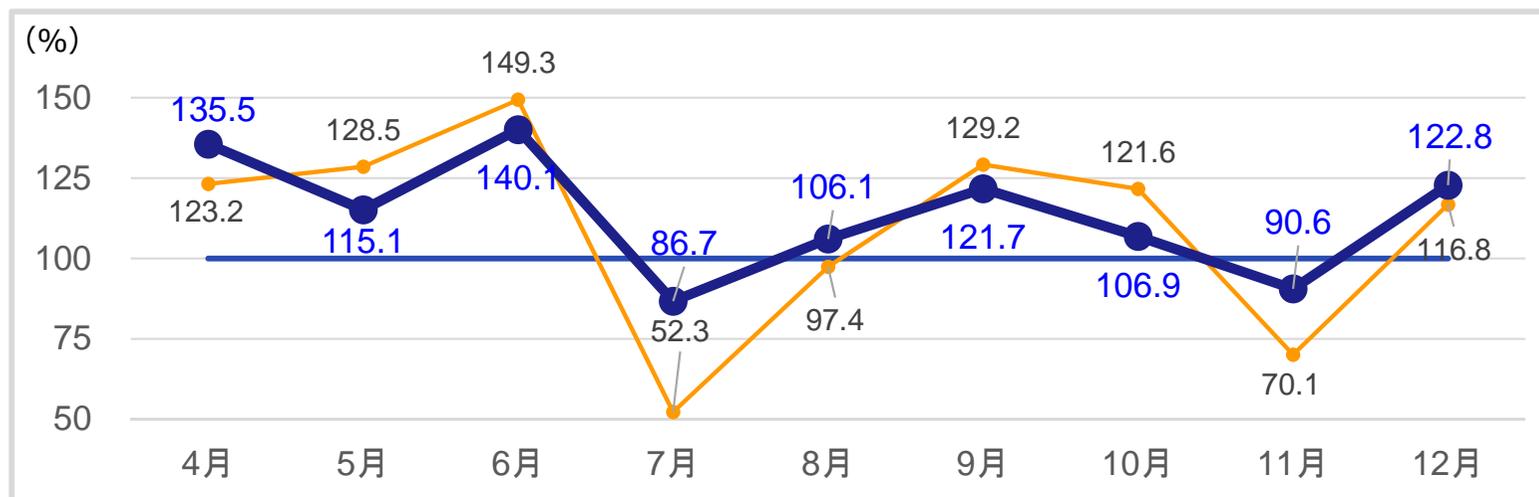


エアコン

第3四半期累計

前年比 **112.0%**

コロナ年比 96.3%



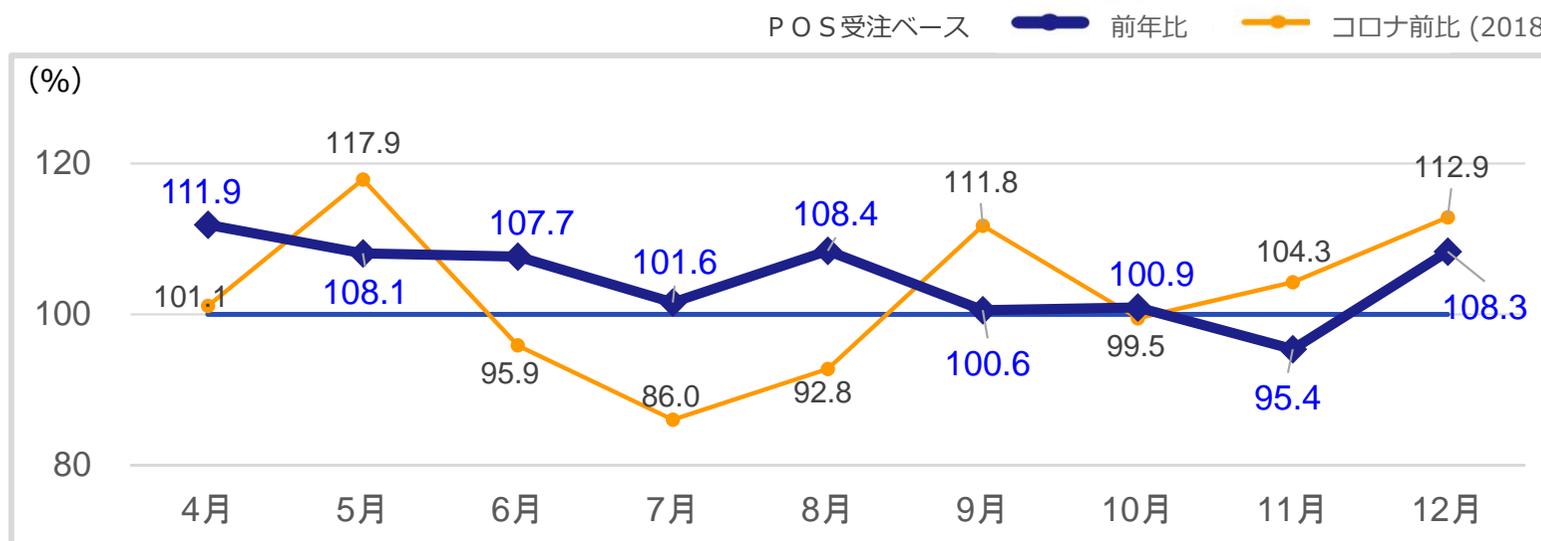
テレビ：大型テレビを中心に買い替えは継続 サッカーW杯需要により11月前年比103.3%

エアコン：11月はやや暖かかったものの12月に入り寒波の影響から暖房器具としての需要が高まった

主要商品別の状況

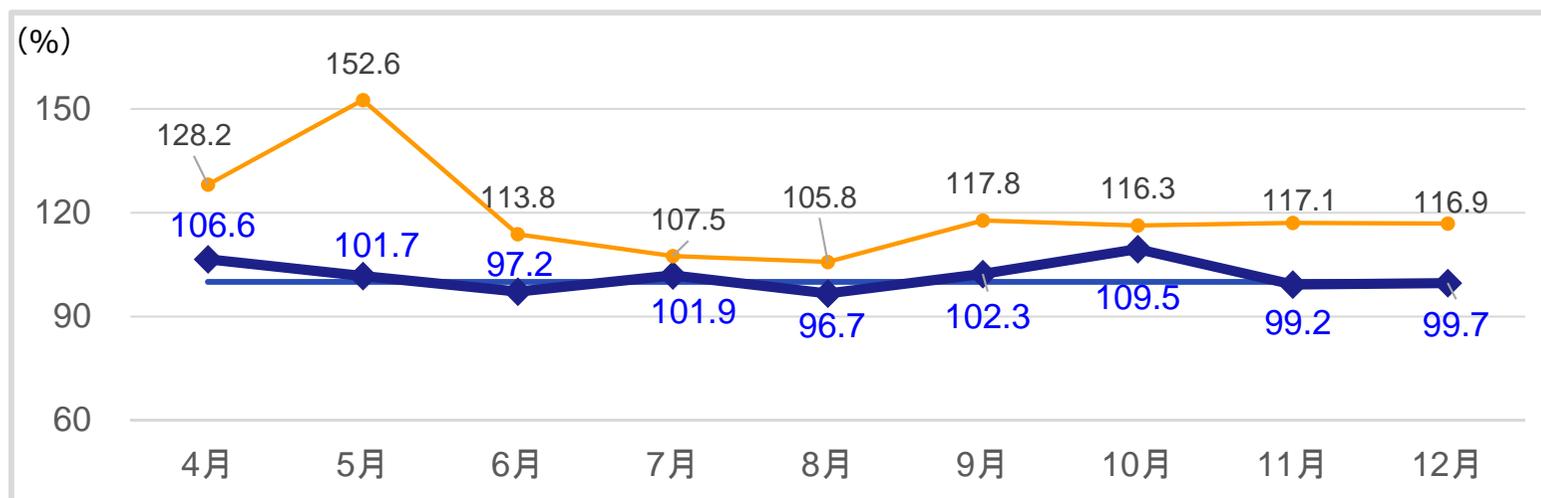
冷蔵庫

第3四半期累計
前年比 **104.5%**
コロナ年比 100.2%



洗濯機

第3四半期累計
前年比 **101.4%**
コロナ年比 118.1%



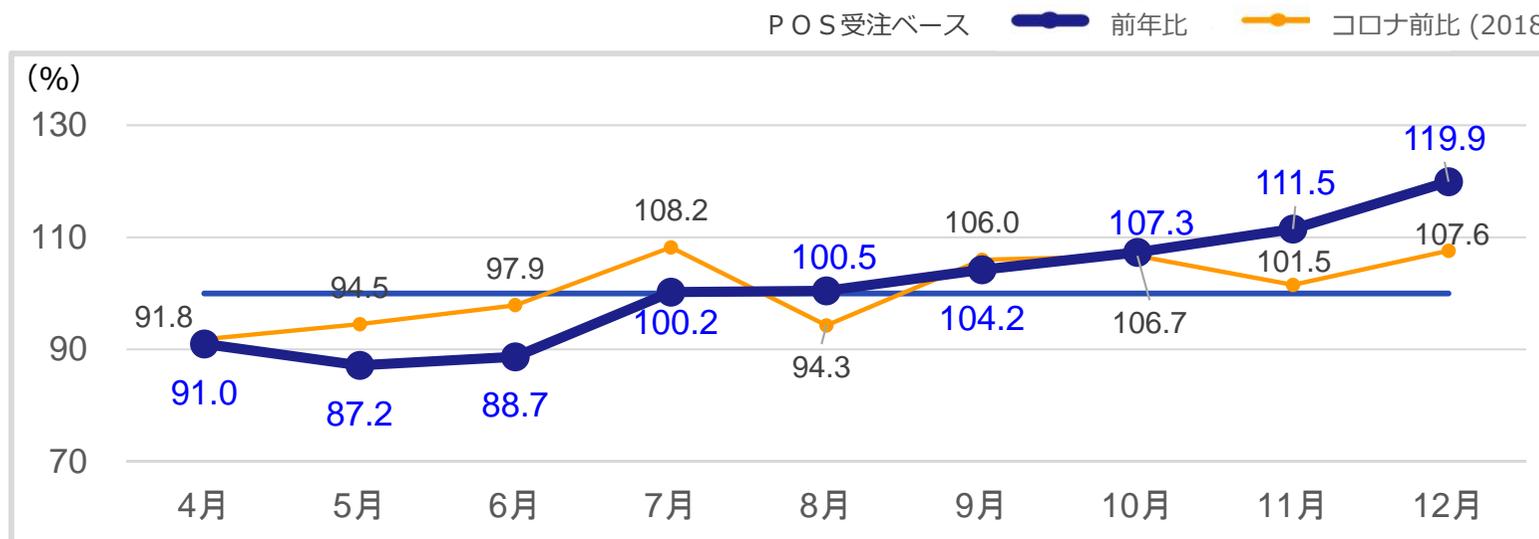
冷蔵庫：400 Lクラスが好調（第3四半期累計 前年比 107.8% コロナ前比 122.4%）

洗濯機：引き続きドラム型洗濯機が牽引（第3四半期累計 前年比 109.7% コロナ前比 159.2%）

主要商品別の状況

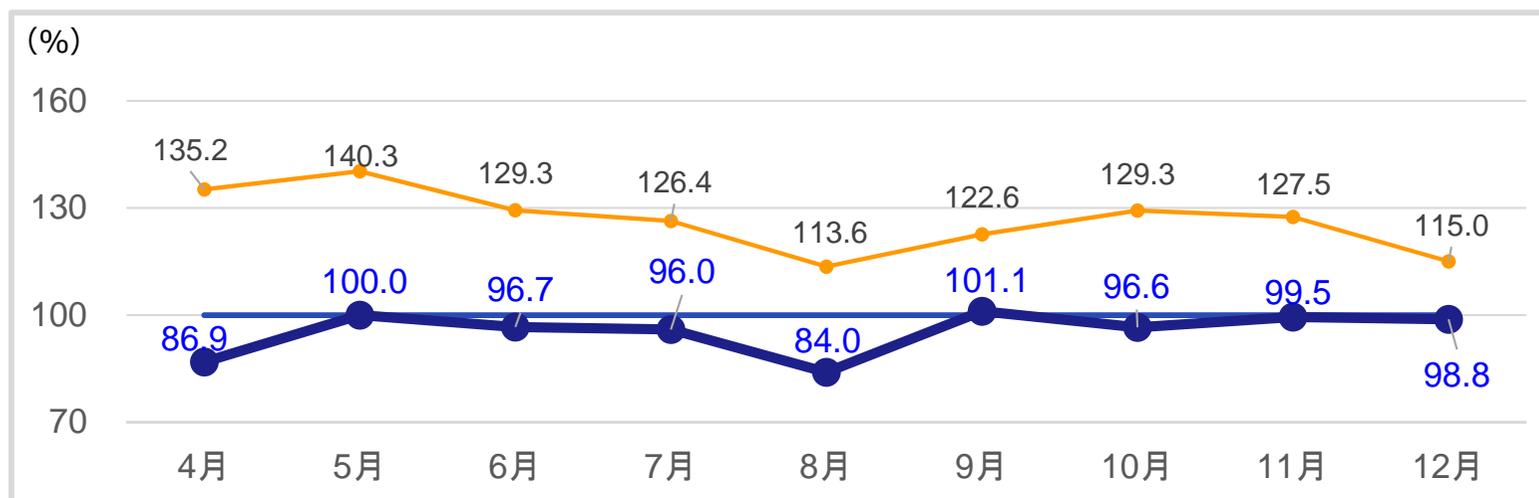
パソコン

第3四半期累計
前年比 **101.4%**
コロナ年比 101.0%



携帯電話(台数)

第3四半期累計
前年比 **95.4%**
コロナ年比 126.2%



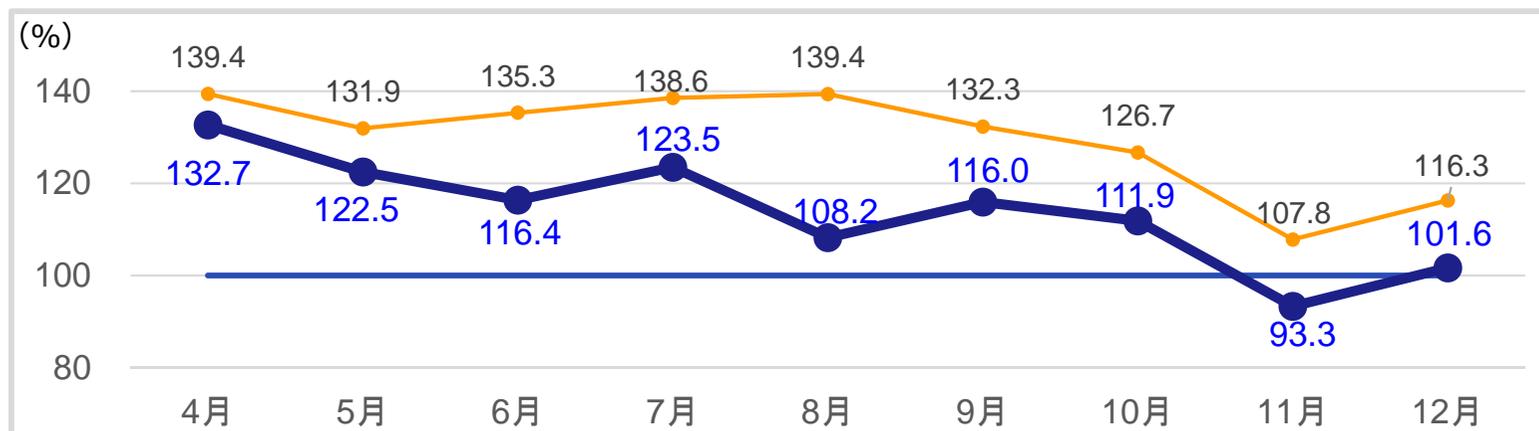
パソコン：2023年1月10日windows8.1のサポート終了にともなう買替需要
携帯電話：コロナ前と比較すると126.2%と大きく伸長

主要商品別の状況

POS受注ベース 前年比 コロナ前比(2018)

リフォーム(ELS)

第3四半期累計
前年比 **113.0%**
2018年比 128.9%

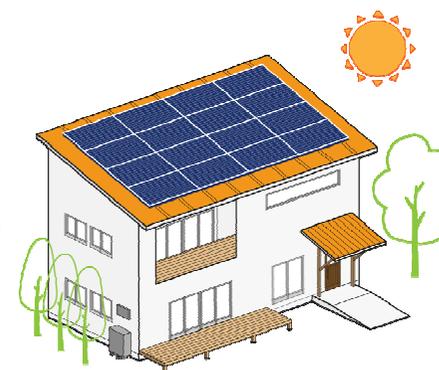


リフォーム：

引き続き好調に推移 今後も継続して取り組み強化

太陽光・オール電化：

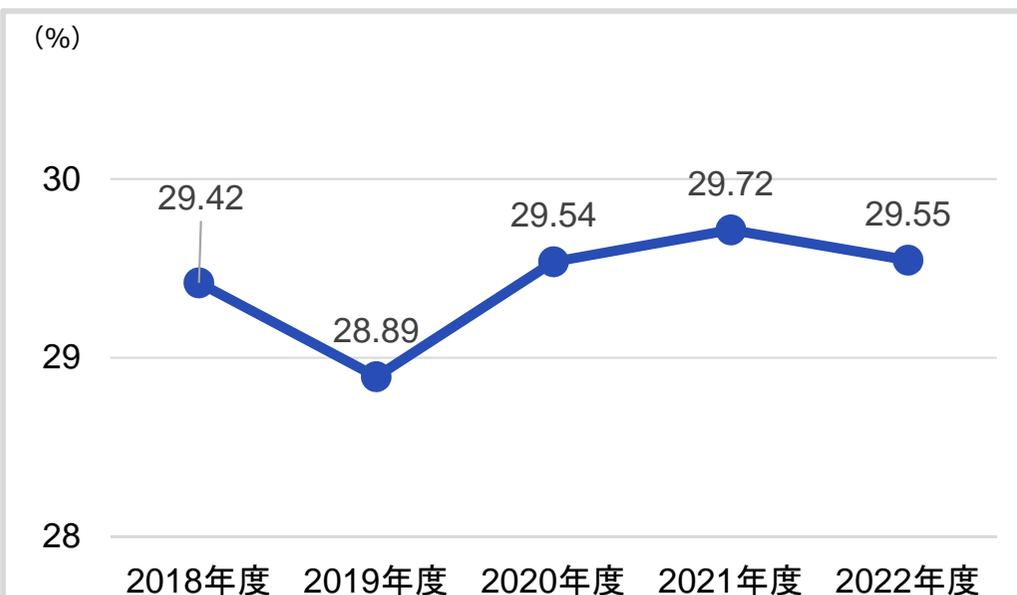
カーボンニュートラル需要の高まりもあり伸長している
スマートエネルギー事業として取り組み強化



二トリキッチンボードの展示を開始(11月)

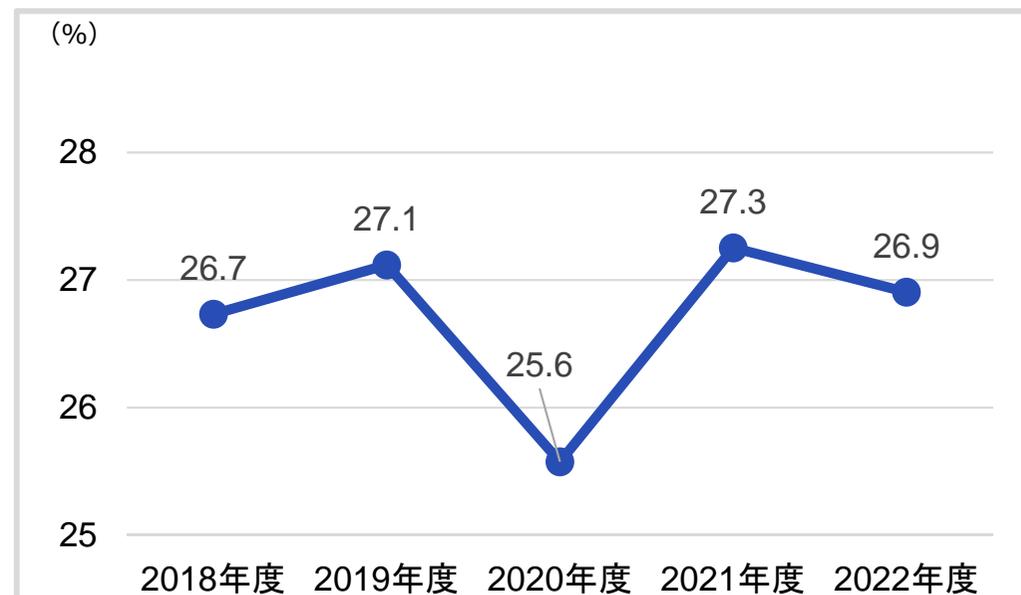
売上総利益率・販管費率の状況

1 売上総利益率



- 売上総利益率 当期実績 29.55% 前期 29.72% 前期差▲0.17%
 - ・ 第1四半期 30.71% 前期 30.36% +0.35%
 - ・ 第2四半期 30.13% 前期 30.49% ▲0.36%
 - ・ 第3四半期 27.94% 前期 28.34% ▲0.4%
 前期と比較して、PC・ゲーム・玩具商品の構成が高まったこともあり粗利ミックスで粗利率は低下

2 販管費率



- 販売費及び一般管理費 当期実績 1,449億円 前期差 +7.9億円
 - 広告宣伝費・販売費 △3.4億円
 - 人件費 △1.4億円
 - 設備費・管理費 +18.5億円
(水道光熱費+9.5億円 賃借料 +6.7億円)
 - 減価償却費 △5.8億円

連結貸借対照表および連結キャッシュフロー計算書

■ 連結貸借対照表

(百万円)

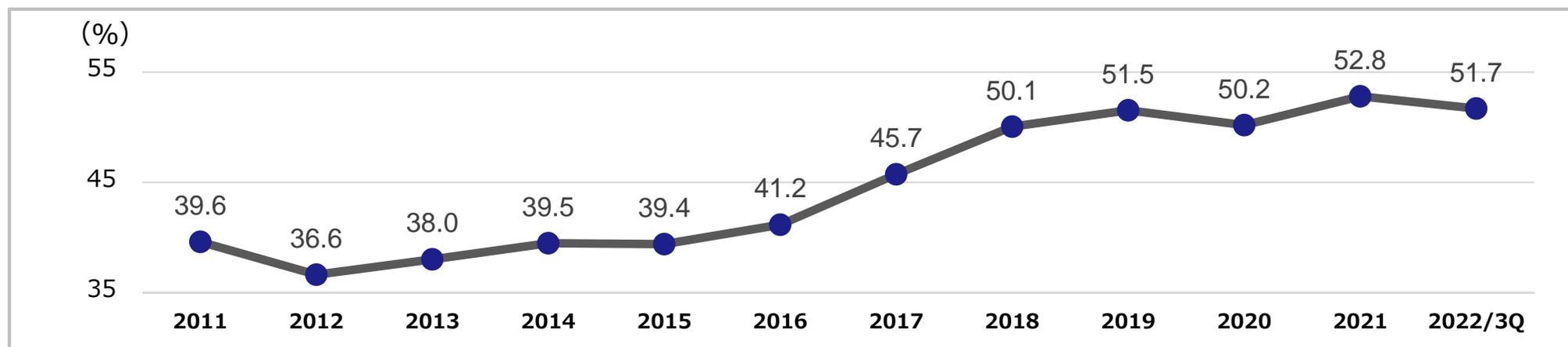
	2022年3月末	2022年12月末	増減
流動資産	190,597	207,699	17,102
有形固定資産	125,504	124,504	△1,000
無形固定資産	10,169	10,008	△160
投資その他の資産	51,699	49,709	△1,989
固定資産	187,373	184,222	△3,150
資産合計	377,970	391,922	13,952
流動負債	109,003	129,237	20,234
固定負債	69,486	59,973	△9,512
負債合計	178,489	189,211	10,722
純資産	199,480	202,710	3,230
負債・純資産合計	377,970	391,922	13,952

■ 連結キャッシュフロー計算書

(百万円)

	2022年3月期 第3四半期累計	2023年3月期 第3四半期累計
営業CF	1,217	10,311
投資CF	△9,036	△6,324
FCF	△7,819	3,987
財務CF	△12,336	△11,382
現金及び現金同等物 の期末残高	22,916	22,489

■ 自己資本比率



2. 2023年3月期 業績予想

百万円・%	2022年度通期実績		2023年度3Q累計実績		2023年度通期予想			
	実績	前年比	実績	前年比	売上比	業績予想	前年比	前年増減
売上高	713,768	92.9	538,554	101.8		736,000	103.1	22,231
売上総利益	209,681	92.9	159,119	101.3	29.38	216,300	103.2	6,618
販売管理費	190,884	96.0	144,902	100.5	26.3	193,800	101.5	2,915
広告宣伝費・販売費	46,751	85.9	35,557	99.0	6.5	47,668	102.0	916
人件費	79,877	99.7	59,625	99.8	10.9	80,000	100.2	122
設備費・管理費	52,561	99.3	41,628	104.7	7.5	55,368	105.3	2,807
減価償却費	11,693	102.5	8,092	93.3	1.5	10,763	92.0	△930
営業利益	18,796	70.2	14,216	109.1	3.1	22,500	119.7	3,703
経常利益	21,589	77.6	14,000	93.8	3.1	22,500	104.2	910
親会社株主に帰属する当期純利益	13,109	78.8	9,382	94.9	1.9	14,000	106.8	890

通期業績予想について利益修正はありません

●売上高

既存店前年比 下期 102.2% 通期 101.5%

●経常利益 前期 助成金収入24億円（上期 9.8億円 下期 14.3億円）あり



エディオングループ計

1,210 店舗

直営店 453店舗 ■ フランチャイズ店 757店舗

※2022年12月末時点

既存店外壁塗替に注力
 <上期12店舗実施済 / 下期29店舗実施予定>

		新設	移転・建替	閉鎖	増減	期末店舗数
2021年度	通 期	16店舗	3店舗	4店舗	+ 12店舗	449店舗
2022年度	第3四半期 累計実績	5店舗	3 店舗	1店舗 (非家電)	+ 4店舗	453店舗
	第4 四半期 予定	—	—	—	—	453店舗
	通 期	5店舗	3 店舗	1店舗 (非家電)	+ 4店舗	453店舗

3. トピックス

■ トピックス：教育事業と地域コミュニティへの注力



2022年11月 WRO2022 ドイツ・ドルトムント

世界中から365のチームが集まり競技を行いました ロボ団からは日本大会で好成績を収めた3チームが選抜出場しました

**世界に通用するハイクラスの指導水準で
次代を担う子どもたちの成長に貢献します**

教室数140教室・生徒数5,000名を超えました

定期的に体験会を開催し、地域の方とのコミュニティづくりに取り組んでいます。

WRO2022ドイツ国際大会

ジュニア部門 4位 7位入賞！
(民間スクールとしてダブル入賞は日本初)



トピックス：新生活需要

多様化するお客様のニーズに応えるため、 新たな商品開発とEC・物流事業に注力



EDION 100満ボルト

新しい、はじまり。

2023
新生活
応援家電フェア
2023.01.01. [SUN] ▶ 04.09. [SUN]

新生活準備
簡単4ステップ!

新生活のご準備は
お早め!!

ひとり暮らし
人気ランキング

ニトリ

地元でも引越先でも安心サービス
日本全国無料発送

ひとり暮らしの家電が
ネットで買える!!

WEBサイトの充実

**ニトリインテリアパックを新生活商品としてラインアップ
家電以外のニーズにもお応え（全店舗展開）**



配送・サービス力の強化 （関東物流網への注力）



見やすく選びやすい商品カタログ

 e angle

消費者目線で商品開発するPB「e angle」
2つの製品が新たにラインアップ



シンプルデザイン & 豊富なおまかせ調理機能搭載
e angle 電子レンジ ANGMOC5



スマートフォン連動 & 洗剤自動投入機能付
e angle 7.0kg 全自動洗濯機 ANGWMC70

配当・株価推移

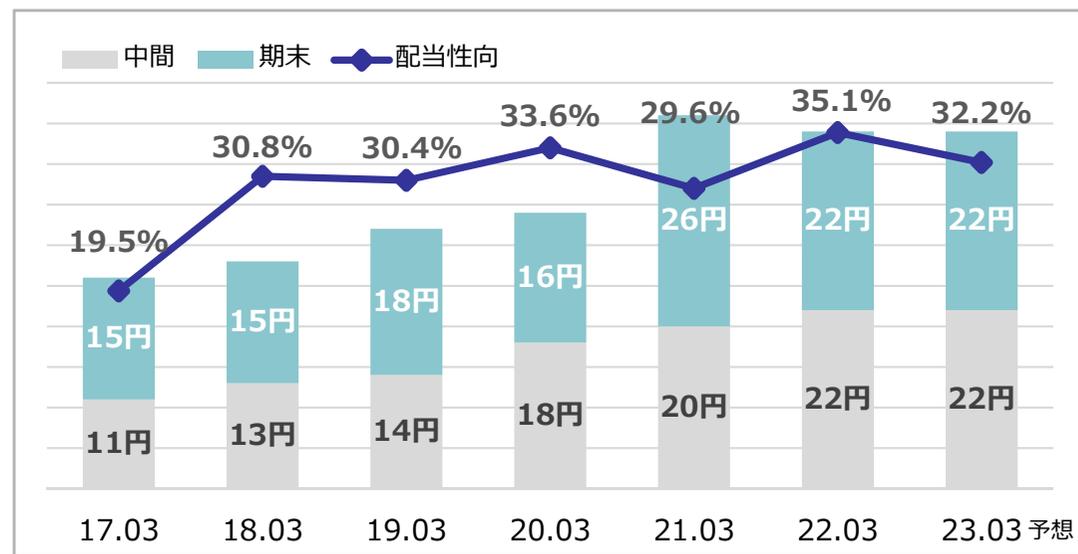
ROI向上を指標に掲げ、資本効率の向上とともに健全なバランスシートの維持を重視します

1. 配当政策

株主への利益還元を経営の重要課題と認識しております。配当については、業績および経営環境等を総合的に加味し配当性向30%以上の安定配当を基本方針としています。

2. 自己株式の取得

資本効率の向上に資する株主還元策を前提に、業績・経営環境や投資および株価を含めた市場環境を総合的に考慮し機動的に実施します。



取り組み強化

1 循環社会への取り組み

循環型社会の実現に向け家電リサイクル法の対象である家電製品の適正な処理を行い、小型家電のリサイクルや発泡スチロールの再資源化などを積極的に取り組んでいます。認定事業者である子会社(株)イー・アール・ジャパンと連携しグループ一体となった回収体制を構築しています。また、多様な人材が活躍できる場を提供するなど様々な側面から社会課題解決に向けた取り組みを推進しています。



2 健康経営の推進



エディオンは従業員の健康を重視し、従業員の健康保持・増進に取り組んでいます。経済産業省および日本健康会議が選定する「健康経営優良法人2022（大規模法人部門）」において、取り組みが優良であると認定されました。

3 地域社会への支援



一般社団法人 障がい者自立推進機構が運営する障がい者アーティストの自立推進に繋がる活動「Paralym Art®」に賛同し、2021年9月よりオフィシャルパートナーとして協賛しています。本協賛を通じて今後も地域社会との協調を図り、持続可能な社会の実現に向けて貢献してまいります。



注意事項

- 本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。
- 本資料に掲載されている予測等については、様々なリスクや不確実性が内在しており、その正確性、完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。
- 本資料は、当社の事業内容、業績等の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
- 本資料につきましては、無断で複製または転送等を行われないうようお願いいたします。



2023年2月3日